

Title	『孝経』及び「孝」関係論考目録
Author(s)	佐野, 大介; 前川, 正名
Citation	中国研究集刊. 1999, 24, p. 1-37
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/61147
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

『孝経』及び「孝」関係論考目録

佐野大介
(大阪大学大学院)

前川正名
(大阪大学大学院)

前 言

『孝経』は、儒教の主要な徳目の一つである「孝」を専ら論じた唯一の経書である。故に、『孝経』及び「孝」の研究論考は多数にのぼる。

日本における近代的な『孝経』研究は、明治より始まったとされる。当時の研究は、『孝経』全体の思想を扱ったものが多く、また、忠君愛国との関係を論じたものが見うけられる。

戦後の『孝経』研究を概観してみると、『孝経』全体の思想を扱ったものや、経文自体の研究はその数を減らし、各論が増える傾向にある。試みに列举すると、成立・作者・注釈書・版本・忠への傾斜・社会制度との関係を論じたもの、等である。また、敦煌から多数の文献が出土し、その中には『孝経』関係諸本もあった。以来、敦煌出土本に関する論考も多数発表されている。

一時期、社会の風潮からか減少傾向にあった『孝経』研究論考であるが、近年再びその数を増やしている。また、当然ながら、日本に残る孝経注釈書に関する研究論考が多いのも、その特色である。

一方、中国では、先に挙げた日本の傾向とは多少趣を異にし、近年でも『孝経』全体の思想を論じるものが多い。また、大陸での研究の特色として、共産主義・封建主義と『孝経』との関係を論じたものが多いことが挙げられる。

本目録は、過去五十年間（1950年～1999年）の『孝経』に関する研究論考と、「孝」関係の研究論考を、把握し得た範囲で収載した。これは、『孝経』を研究する上で「孝」研究も不可分と考えたためである。また、研究上の便利を考え、「孝子」・「曾子」関係の研究論考も同時に収載した。

本目録には、遺漏・錯誤も多いことと思う。先学諸賢のご批正を請うところ切である。

目次

和文篇

【単行本】

- I、訳注書
- II、研究書・その他

【論文】

- III、孝経
 - 1、目録
 - 2、総論
 - 3、関連諸本
 - 4、章句研究
 - 5、注釈書
 - 6、敦煌出土本
 - 7、版本・出版
 - 8、訳注
- IV、孝
 - 1、総論
 - 2、孔子・論語
 - 3、その他
- V、孝子
- VI、曾子

中文篇

【単行本】

【論文】

- I、孝経
 - 1、目録・索引
 - 2、総論
 - 3、章句研究
 - 4、注釈書
 - 5、敦煌出土本
 - 6、版本・出版
- II、孝
 - 1、総論
 - 2、孔子・論語
- III、孝子
- IV、曾子

凡例

- 一、収集範囲は、『孝経』・「孝」について論じられているものとし、中国哲学・中国文学・東洋史学関係のものを主とした。
- 一、関係論考は、和文篇・中文篇の二篇構成とした。
- 一、各篇の内部で、関係論考を単行本と論文とに二分し、論文に関しては、さらに『孝経』・「孝」・「孝子」・「曾子」の四部に分けた。また、各部で内容上から幾つかの項に細分類した。
- 一、配列は年代順とした。その際、初出年次を以てし、再録状況を把握し得た範囲で附した。
- 一、『孝経』・「孝」に関する専著以外の研究書において『孝経』・「孝」について言及されている場合は、その研究書における章名を掲げた。
- 一、各資料の掲載方法は、次の通りである。なお、副題は空格の後に棒線で囲

む形式に統一した。

①雑誌・論文集所載研究論文の場合

「論文名 -副題-」著者名（『掲載雑誌・書名』号数 発表年）

②研究書所載論文の場合

「論文名・章名」編著者名（『書名』出版社名 発表年）

③研究書の場合

『書名』編著者名（出版社名 発表年）

一、簡体字・繁体字を使用しているものは、原則として日本の通用字体に改めた。

一和文篇一

【単行本】

I、訳注書

W001 『孝経』 林秀一（中国古典新書 明德出版社 1979）

W002 『孝経』 栗原圭介（新釈漢文大系35 明治書院 1986）

II、研究書・その他

W003 『孝経述議に関する研究』 林秀一（文求堂 1953）

W004 『孝の研究』 田中佩刀（著者出版 1958）

W005 『孝子説話集の研究』 徳田進（井上書房 1963）

W006 『中国仏教と儒教倫理』 道端良秀（サーラ叢書 平楽寺書店 1968 後に、
『中国仏教史全集（9）』書苑 1995）

W007 『中国古代における人間観の展開』 板野長八（岩波書店 1972）

W008 『孝経学論集』 林秀一（明治書院 1976）

W009 『中国思想からみた日本思想史研究』 加地伸行（吉川弘文館 1985）

- W010 『教育から見た中国女性資料の研究 - 『女四書』と『新婦譜』三部書-』
山崎純一 (明治書院 1986)
- W011 『劉向『列女伝』の研究』下見隆雄 (東海大学出版会 1989)
- W012 『「母」のための喪服 - 中国古代社会に見る夫権・妻=母の地位・子の義務-』神矢法子 (近代文芸社 1994)
- W013 『儒教社会と母性 - 母性の威力の観点で見る漢魏晋中国女性史-』下見隆雄 (研文出版 1994)
- W014 『儒教成立史の研究』板野長八 (岩波書店 1995)
- W015 『元版 孝経直解』太田辰夫・佐藤晴彦 (汲古書院 1996)
- W016 『孝と母性のメカニズム - 中国女性史の視座-』下見隆雄 (研文出版 1997)

【論文】

Ⅲ、孝経

1、目録

- W017 「江戸時代成立孝経類簡明目録」阿部隆一・大沼晴暉 (『斯道文庫論集』13 1977)
- W018 「清朝以前成立孝経類目録」大沼晴暉 (『斯道文庫論集 (麻生太賀吉大人追悼記念論集)』18 1982)
- W019 「孝経目録補遺並江戸時代孝経刊行年表」大沼晴暉 (『斯道文庫論集』21 1985)

2、総論

- W020 「高叟と子弓 - 論語・孝経・大学の著者について-」山田統 (『敍説』5 1950 後に、『山田統著作集 (2)』明治書院 1982)
- W021 「孝経の成立1」板野長八 (『史学雑誌』64-3 1955 後に、『儒教成立史の研究』岩波書店 1995)

- W022 「孝経の成立 2」板野長八（『史学雑誌』64-4 1955 後に、『儒教成立史の研究』岩波書店 1995）
- W023 「我国に於ける孝経の伝来に就いて」林秀一（『土』43 1956）
- W024 「古訓点閑談（その二） - 日本最古の論語・孝経の訓点 -」中田祝夫（『漢文教室』32 1957）
- W025 「孝経の伝来とその影響 - 写本時代を中心として -」林秀一（『東方学会創立十五周年記念 東方学論集』1962 後に、『孝経学論集』明治書院 1976）
- W026 「孝経に於ける自然の理性化」黒田紀也（『岡山大学法文学部学術紀要』20 1964）
- W027 「《太史公自序》の成立 - 《史記》研究その一 -」加地伸行（『密教文化』67 1964）
- W028 「古代の思想」渡辺卓（中国文化叢書3『思想史』大修館書店 1967）
- W029 「六朝時代における『孝経』の受容」吉川忠夫（『古代文化』19-4 1967 後に、『東洋史研究叢刊36『六朝精神史研究』同朋舎 1984）
- W030 「太平記と古文孝経」増田欣（『国文学攷』52 1970）
- W031 「儒教の成立」板野長八（『岩波講座世界史（4）』岩波書店 1970 後に、『儒教成立史の研究』岩波書店 1995）
- W032 「孝経の受容」木村光徳（『藤樹学の成立に関する研究』風間書房 1971）
- W033 「経書「孝経」の書誌とその分類」佐佐伊佐美（『図書館学会報』17-1 1971）
- W034 「孝経」板野長八（『中国古代における人間観の展開』岩波書店 1972）
- W035 「賈誼・尚書大伝・晁錯」板野長八（『中国古代における人間観の展開』岩波書店 1972）
- W036 「雑家・学庸・『孝経』など」渡辺卓（『中国古代思想史の研究』創文社 1973）
- W037 「今文孝経の経文成立に就いて」林秀一（『宇野哲人先生白寿祝賀記念 東洋学論叢』1974 後に、『孝経学論集』明治書院 1976）

- W038 「六朝時代における『孝経』の受容・再説」吉川忠夫（『古代文化』27-7 1975 後に、東洋史研究叢刊36『六朝精神史研究』同朋舎 1984）
- W039 「わが国における孝経の伝来 -主として刊本時代について-」林秀一（『高野山大学国語国文』3 1976）
- W040 「秦漢帝国の概観」好並隆司（『秦漢帝国史研究』未来社 1978）
- W041 「孝経の研究」武内義雄（『武内義雄全集』角川書店 1978）
- W042 「行政道と論語、孝経」横溝光暉（『斯文』83 1980）
- W043 「日本古代の大学における孝経（上）」八重樫直比古（『ノートルダム聖心女子大学紀要（文化学編）』5-1（総16）1981）
- W044 「唐玄宗皇帝の老子崇拜と『道德経』理解」中嶋隆蔵（『六朝思想の研究』平楽寺書店 1985）
- W045 「孝経の製作とその背景」渡辺信一郎（『史林』69-1 1986）
- W046 「孝経の碑」町田三郎（『みやま文庫』1986）
- W047 「孝経の国家論 -孝経と漢王朝-」渡辺信一郎（『中国貴族制社会の研究』京都大学人文科学研究所 1987）
- W048 「『孝経』の成立についての一考察」清水悦男（『早稲田大学大学院文学研究科紀要別冊（哲学・史学編）』13 1987）
- W049 「『孝経』」内山俊彦（東洋学叢書『中国古代思想史における自然認識』創文社 1988）
- W050 「『孝経』の漢代における思想的位置 -宗教性から礼教性へ-」加地伸行（『日本中国学会報』42 1990）
- W051 「『孝経』の作者」の意味」加地伸行（『待兼山論叢（哲学）』24 1990）
- W052 「孝経往来考」山本徹（『宇都宮大学教育学部紀要』41-1 1991）
- W053 「『孝経』の和解と諺解 -日本と朝鮮の漢文読解の比較-」藤井茂利（『福岡大学総合研究所報』142（人文科学篇82）1992）
- W054 「『孝経』の思想 -孝の宗教学・その六-」池沢優（筑波大学）『地域研究』12 1994）

- W055 「『孝経』の思惟の特質 — 愛敬 —」 鈴木柔嘉 (歴史科学叢書『中国古代国家の思想構造 — 専制国家とイデオロギー —』校倉書房 1994)
- W056 「論『孝経』」 夏伝才 (『栗原博士頌寿記念 東洋学論集』 1994)
- W057 「儒教の形成 6 — 『孝経』の著作意図 —」 浅野裕一 (『国際文化研究論集』 3 1995 後に、『孔子神話』岩波書店 1997)
- W058 「林羅山の『孝経』解釈 — 「良知」と「意念」を中心に —」 閻茁 (『早稲田大学大学院文学研究科紀要』 1-42 1997)
- W059 「漢代の統治政策における孝思想の展開と『孝経』(上) — 政策としての孝思想 —」 斎木哲郎 (『東洋文化復刊』 82 1999)

3、関連諸本

- W060 「孝経緯・論語緯についての資料面よりする若干の問題」 中村璋八 (『緯書集成(5)』漢魏文化研究会 1960 後に、『重修緯書集成(5)』明德出版社 1973)
- W061 「各緯における諸問題」 安居香山・中村璋八 (『緯書の基礎的研究』漢魏文化研究会 1966)
- W062 「詩経図と孝経図」 古原宏伸 (『美術史』 72 1969)
- W063 「『女四書』と『新婦譜』の世界 — 旧中国における女子教育の背景と基調 —」 山崎純一 ((早稲田大学)『中国古典研究』 16 1969 後に、『教育からみた中国女性資料の研究 — 『女四書』と『新婦譜』三部書 —』明治書院 1986)
- W064 「孝経緯とその篇目について」 中村璋八 (『駒沢大学外国語学部研究紀要(創立九十周年記念号)』 2 1973)
- W065 「唐代女訓書二点『女論語』『女孝経』考」 山崎純一 (『星川博士退休記念 中国文学論叢』 1979 後に、『教育からみた中国女性資料の研究 — 『女四書』と『新婦譜』三部書 —』明治書院 1986)
- W066 「侯莫陳遼妻鄭氏『女孝経』」 山崎純一 (『教育からみた中国女性資料の研究 — 『女四書』と『新婦譜』三部書 —』明治書院 1986)
- W067 「『孝経』関係緯書をめぐる若干の問題」 加地伸行 (『斯文』 105 1997)

4、章句研究

- W068 「孝経庶人章によせて」 宇都宮清吉 (『東洋史研究』17-4 1959)
- W069 「講経 一身体髮皮, 受之父母, 不敢毀傷, 孝之始也一」 大矢根文次郎 ((無窮会) 『東洋文化』復刊15 (総249) 1967)
- W070 「孝経喪親章不読の慣行について」 林秀一 (『岡山大学法文学部学術紀要』17 1964 後に、『孝経学論集』明治書院 1976)
- W071 「「不敢毀傷」考」 八重樫直比古 (『ノートルダム清心女子大学紀要 (文化学編)』7-1 (総18) 1983)

5、注釈書

- W072 「西夏語訳呂恵卿孝経伝」 石浜純太郎 (『文化』20-6 1956)
- W073 「清原宣賢の孝経秘抄について」 林秀一 (『かがみ』2 1960 後に、『孝経学論集』明治書院 1976)
- W074 「室町時代邦人撰述孝経注釈書考」 阿部隆一 (『大倉山論集 (大倉精神文化研究所創立三十周年記念号)』8 1960 後に、『阿部隆一遺稿集 (2)』汲古書院 1985)
- W075 「「尚書孔氏伝」の作成とその解釈」 加賀栄治 (『中国古典解釈史 一魏晋篇一』勁草書房 1963)
- W076 「庚辰字本孝経諺解と小学諺解」 田川孝三 (『朝鮮学報』27 1963)
- W077 「影印孝経諺解 (資料)」 田川孝三 (『朝鮮学報』27 1963)
- W078 「孝経鄭注復原に関する研究」 林秀一 (『岡山大学法文学部学術紀要』21 1964 後に、『孝経学論集』明治書院 1976)
- W079 「貫酸斎「孝経直解」の前後 一金元明の口語の経解について一」 吉川幸次郎 (『石田幹之助博士頌寿記念 東洋史論叢』1965 後に、『吉川幸次郎全集 (15)』筑摩書房 1969)
- W080 「室町時代以前に於ける御注孝経の講誦伝流について 一清原家旧蔵鎌倉鈔本開元始注本を中心として一」 阿部隆一 (『斯道文庫論集』4 1965)
- W081 「古文孝経旧鈔本の研究 (資料篇)」 阿部隆一 (『斯道文庫論集』6 1968)

- W082 「孝経啓蒙における尊徳性」木村光徳（『藤樹学の成立に関する研究』風間書房 1971）
- W083 「孝経刊誤の成立について」林秀一（『東方学会創立二十五周年記念 東方学論集』 1972 後に、『孝経学論集』明治書院 1976）
- W084 「林羅山述「古文孝経諺解」について」林秀一（『長沢先生古稀記念 図書学論集』 1973 後に、『孝経学論集』明治書院 1976）
- W085 「『孝経啓蒙』の諸問題」加地伸行（日本思想体系『中江藤樹』岩波書店 1974 後に、『中国思想からみた日本思想史研究』吉川弘文館 1985）
- W086 「明人朱鴻の『孝経輯録』について」加地伸行（『名古屋大学文学部研究論集（哲学）』22 1975 後に、『中国思想からみた日本思想史研究』吉川弘文館 1985）
- W087 「孝経直解語法札記」山川英彦（『神戸外大論叢』32-3 1981）
- W088 「『孝経鄭氏注』の真偽に就いて 一果たして鄭玄の注なのかー」間嶋潤一（『香川大学教育学部研究報告（1部）』13 1988）
- W089 「《孝経直解》語法札記」矢野賀子・劉一芝（『岐阜教育大学紀要』27 1994）
- W090 「孝経直解釈詞」太田辰夫（『中国語研究』37 1995 後に、『元版 孝経直解』汲古書院 1996）
- W091 「『孝経直解』校訂と試訳」佐藤晴彦（『神戸外大論叢』46-6 1995）
- W092 「『孝経直解』校訂」佐藤晴彦（『元版 孝経直解』汲古書院 1996）
- W093 「「母の為の三年の喪」-玄宗『孝経』注の背景-」島一（『立命館文学』5 51 1997）
- W094 「『孝経刊誤』小考」加地伸行（『日本中国学会創立五十年紀年論文集』1 998）
- W095 「『孝経直解』の挿絵をめぐる」宮紀子（『東方学』95 1998）
- W096 「『孝経』注疏とその周辺」島一（『学林』28・29 1998）

6、敦煌出土本

- W097 「敦煌遺書孝經鄭注義疏の研究」 林秀一（『岡山大学法文学部学術紀要』 7
1956 後に、『孝經学論集』 明治書院 1976）
- W098 「舜子至孝変文の諸問題」 金岡照光（『大倉山学院紀要』 2 1956）
- W099 「唐代民間孝子譚の仏教的一断面 — 目連変文を中心として —」 金岡照光
（『東洋大学紀要』 13 1959）
- W100 「再訂敦煌遺書孝經鄭注義疏解説」 林秀一（『岡山大学法文学部学術紀要』
11 1959）
- W101 「変文の構造 — 孝子談に見られる「くりかえし」を中心に —」 小川陽一
（『集刊東洋学』 3 1960）
- W102 「敦煌遺書孝經鄭注本の経文復原について」 林秀一（『東方学』 29 1965
後に、『孝經学論集』 明治書院 1976）
- W103 「敦煌本董永伝について」 金岡照光（『東洋大学紀要』 20 1967）
- W104 「敦煌変文孝子伝と舜子変の比較」 栢尾武（『桜美林大学中国学論叢』 1
1968）
- W105 「敦煌本舜子変文・董永変文と我が国説話文学」 川口久雄（『東方学』 40
1970）
- W106 「敦煌本舜子変再論補正 — 附斯坦因四六五四本校勘訳註 —」 金岡照光（『東
洋大学紀要（文学部篇）』 26 1972）
- W107 「儒教典籍（『孝經』）」 土田健次郎（講座敦煌 5 『敦煌漢文文献』 大東出版
社 1992）

7、版本・出版

- W108 「太宰純の孝經孔伝の校刊とその影響」 林秀一（『岡山大学法文学部学術紀
要』 2 1953 後に、『孝經学論集』 明治書院 1976）
- W109 「室町時代邦人撰述孝經注釈書考」 阿部隆一（『大倉山論集』 8 1960 後
に、『阿部隆一遺稿集（2）』 汲古書院 1985）
- W110 「天理図書館藏奈良朝旧鈔古文孝經零巻について」 阿部隆一（（天理図書館）
『ピブリア』 24 1963 後に、『阿部隆一遺稿集（2）』 汲古書院 1985）
- W111 「古文孝經の一本に就いて」 米山寅太郎（『岩井博士古稀記念 典籍論集』

1963)

- W112 「孝経を中心とする近世の版本」 森川彰・田熊渭津子 (『私立大学図書館協会会報』 39 1963 後に、『中国関係論説資料』 5-1 1966)
- W113 「金沢文庫所蔵鎌倉鈔本「孝経正宗分聞書」考」 阿部隆一 (『金沢文庫研究』 95 1963 後に、『阿部隆一遺稿集(2)』 汲古書院 1985)
- W114 「孝経の出版について」 佐佐伊佐美 (『図書館学会年報』 7-1 1966 後に、『中国関係論説資料』 6-1 1966)
- W115 「(翻刻) 船橋家旧蔵近世書写延書本孝経」 土井洋一 ((京都帝国大学国文学会) 『国語国文』 35-6 1966)
- W116 「孝経の和刻」 森川彰 (中国文化叢書9 『日本漢学』 大修館書店 1968)
- W117 「御注孝経の書誌学的研究」 佐佐伊佐美 (『九州女子大学紀要』 5-1 1969)
- W118 「岡山藩学校使用中の江藤樹手筆孝経版本について」 林秀一 (『福井康順博士喜寿記念 東洋文化論集』 1969 後に、『孝経学論集』 明治書院 1976)
- W119 「真祐本『孝経啓蒙』と安井真祐と」 加地伸行 (『密教文化』 109 1975 後に、『中国思想からみた日本思想史研究』 吉川弘文館 1985)
- W120 「石台孝経碑の研究」 塚田康信 (『福岡教育大学紀要(文科編)』 24 1975)
- W121 「賀知章孝経私考」 大久保荘太郎 (『羽衣学園短期大学研究紀要』 11 1975)
- W122 『孝経啓蒙』の新発見写本について」 加地伸行 (日本思想体系『中世神道論』月報 岩波書店 1977 後に、『中国思想からみた日本思想史研究』 吉川弘文館 1985)
- W123 「家蔵本『孝経啓蒙』について」 加地伸行 (『名古屋大学文学部三十周年記念 研究論集』 1979 後に、『中国思想からみた日本思想史研究』 吉川弘文館 1985)
- W124 「天理図書館所蔵本『孝経啓蒙』について」 加地伸行 (『池田末利博士古稀記念 東洋学論集』 1980 後に、『中国思想からみた日本思想史研究』 吉川弘文館 1985)
- W125 「玄宗「石台孝経」成立考 -建碑の理由を中心として-」 長尾秀則 ((国学院大学) 『漢文学会会報』 32 1986)

- W126 「『二十四孝』諸版解題」母利司朗（『国文学研究資料館文献資料部調査報告』7 1986）
- W127 「堀皆春と宮内省本「賀知章・草書孝経」について」村田栄三郎（（無窮会）『東洋文化』復刊62（総296） 1989）
- W128 「天理図書館蔵正安本古文孝経の訓点」西崎亨（（天理図書館）『ビブリア』97 1991）
- W129 「関西大学図書館所蔵手鑑『二十四孝』について」橋本草子（『汲古』30 1994）
- W130 「『孝経直解』の出版とその時代」宮紀子（『中国文学報』56 1998）

8、訳注

- W131 「古文孝経序の訓読文四種」小林芳規（『訓点語と訓点資料』5 1955）
- W132 「孝経注疏訓注（1）」宮本勝他（（北海道大学）『中国哲学』14 1985）
- W133 「孝経序訓注（1）」宮本勝（（北海道大学）『中国哲学』15 1986）
- W134 「孝経注疏訓注（2）」宮本勝他（（北海道大学）『中国哲学』15 1986）
- W135 「孝経注疏訓注（3）」宮本勝他（（北海道大学）『中国哲学』16 1987）
- W136 「孝経注疏訓注（4）」宮本勝他（（北海道大学）『中国哲学』17 1988）
- W137 「孝経序訓注（2）」宮本勝（（北海道大学）『中国哲学』18 1989）
- W138 「東塾読書記卷一訳注 一孝経一」名畑嘉則他（（北海道大学）『中国哲学』20 1991）

IV、孝

1、総論

- W139 「孝について 一観念形態としての孝の分析一」川島武宜（『日本社会の家族的構成』日本評論社 1950（学生社 1948））
- W140 「イデオロギーとしての孝」川島武宜（『日本社会の家族的構成』日本評論

- 社 1950 (学生社 1948) 後に、『イデオロギーとしての家族制度』岩波書店 1957)
- W141 「「孝」の意義について -附・孝を支えてみた古代人の世界観-」深津胤房 (『東京支那学会報』12 1953)
- W142 「中国社会と儒教の孝倫理」道端良秀 (『唐代仏教史の研究』法蔵館 1957 後に、『中国仏教史全集 (2)』書苑 1985)
- W143 「「孝」に於ける「養」と「敬」について -其の道徳的意義を中心にして-」最所顕文 (『倫理学年報』6 1957)
- W144 「家族制の道徳」磯野誠一・磯野富士子 (『家族制度 -淳風美俗を中心として-』岩波書店 1958)
- W145 「序説」藤川正数 (『魏晋時代における喪服礼の研究』敬文社 1960)
- W146 「「孝」ということ」野村恵二 (『朝日新聞・研究ノート』1964. 4. 19)
- W147 「儒家の諫争論について -特に子が父を諫争する場合-」林秀一 (『東京支那学会報』12 1966 後に、『林秀一博士存稿』林秀一先生古稀記念出版会 1974)
- W148 「戦国秦漢に於ける孝の二重性」板野長八 ((東京教育大学)『史学研究』100 1967)
- W149 「中国古代に於ける孝の位置 -孝意識の成立とその展開-」倉田信靖 ((大東文化大学)『漢学会誌』8 1968)
- W150 「社会政治思想」湯浅幸孫 (中国文化叢書9『思想概論』大修館書店 1968)
- W151 「日本と中国との比較研究のための序説」尾藤正英 (中国文化叢書10『日本文化と中国』1968)
- W152 「中国社会における仏教倫理の形態」道端良秀 (『中国仏教史の研究』法蔵館 1970 後に、『中国仏教史全集 (7)』書苑 1985)
- W153 「「孝」から「忠」へ・文革の中の思想」竹内実 (『経済評論』20-8 1971)
- W154 「中国における諫争および諫争論の展開」花房卓爾 ((広島哲学会)『哲学』25・26・27 1973・1974・1975)

- W155 「儒家の諫諍論 —その変化の背景—」 森熊男 ((岡山大学教育学部) 『研究集録』 40 1974)
- W156 「儒教的「孝」の成立以前 尚書を手がかりとして」 野村茂夫 (『愛知教育大学研究報告 (人文・社会科学)』 23 1974)
- W157 「孝の系譜」 岡村繁 (『全国藤樹講習会講話』 2 1976)
- W158 「“仁孝” —あるいは二～七世紀中国における—イデオロギー形態と国家—」 渡辺信一郎 (『史林』 61-2 1978)
- W159 「「家」と君臣関係」 尾形彰 (『中国古代の「家」と国家 —皇帝支配下の秩序構造—』 岩波書店 1979)
- W160 「父の子に於ける、実は情欲の為に発せしのみ」 岡村繁 (『小尾博士古稀記念 中国学論集』 1983)
- W161 「戦国末期における孝思想の展開 —特に忠・孝一本化の問題について—」 衣笠勝美 (『漢学研究 (平岡武生先生退任記念号)』 20 1983)
- W162 「秦漢時代の孝の一考察」 越智重明 (『西嶋定生博士還暦記念 東アジア史における国家と農民』 1984)
- W163 「晋南朝における「忠孝先後」問題をめぐって」 野田俊昭 (『九州大学東洋史論集』 14 1985)
- W164 「「朝鮮」における孝道の実践とその展開 (上)」 内藤雋輔 (『朝鮮学報 (天理教教祖百年祭記念号)』 119・120 1986)
- W165 「功過格の“孝”規範」 奥崎裕司 (『道教と宗教文化』 平河出版社 1987)
- W166 「儒家と法家との孝」 越智重明 (『久留米大学法学』 5・6 1990)
- W167 「孝思想の展開と始皇帝」 越智重明 (『国立台湾大学歴史学系学報』 15 1990)
- W168 「西周春秋時代の孝と祖先祭祀に就いて —「孝」の宗教学・その一—」 池沢優 ((筑波大学) 『地域研究』 10 1992)
- W169 「中国戦国秦漢時代の孝思想文献一 (『大戴礼記』「曾子本孝篇」訳注) —「孝」の宗教学・その二—」 池沢優 (『平成三年度筑波大学学内プロジェクト研究報告書』 1992)
- W170 「中国戦国時代末期の「孝」思想の諸文献 —「孝」の宗教学・その三—」

- 池沢優 ((筑波大学)『地域研究』11 1993)
- W171 「中国古代の「孝」思想の思想的意味 — 「孝」の宗教学・その五— 池沢優 (『社会文化史学』31 1993)
- W172 「孝思想の展開と家」越智重明 (『戦国秦漢史研究(2)』中国書店 1993)
- W173 「現代韓国社会における伝統的儒教倫理の変容 — 「孝道」および「儒道会」を中心に— 岡田浩樹 ((上広倫理財団)『研究助成報告論文集』6 1994)
- W174 「「孝」風水思想」坂出祥伸 (『中国古典読書会会報』五月 1994)
- W175 「中国古代における「孝」について」玉置重俊 (『北海道情報大学紀要』6 - 2 1994)
- W176 「儒家思想における「孝」と「忠」」玉置重俊 (『北海道情報大学紀要』7 - 1 1994)
- W177 「宋明学の受容と変容 — 孝をめぐる—」田尻祐一郎 (日中文化交流史叢書3『思想』大修館書店 1995)
- W178 「秦漢の際の儒家」馮友蘭著 柿村峻・吾妻重二共訳 (『中国哲学史 — 成立編—』富山房 1995)
- W179 「前近代中国における「孝」と仏教の〈孝〉について」若江賢三 (『東洋哲学研究所紀要』12 1996)
- W180 「中国人の基底をなしている思想 — 祖先崇拜・宗族・「孝」—」坂出祥伸 (『中国研究集刊』寒号(総18) 1996)
- W181 「孝を育む母性 — 中国女性史の視座—」下見隆雄 (『東洋古典学研究』2 1996 後に、『孝と母性のメカニズム』研文出版 1997)
- W182 「孝から忠への展開について」下見隆雄 (『東洋古典学研究』3 1997 後に、『孝と母性のメカニズム』研文出版 1997)
- W183 「論孝」鈴木喜一 (『日本中国学会創立五十年紀年論文集』1998)

2、孔子・論語

- W184 「論語に於ける孝の思想」田中佩刀 (『解釈』4 - 5 1958)

- W185 「講経 一孝弟也者、其為仁之本与一」大野実之助（（無窮会）『東洋文化』復刊5 1963）
- W186 「孔子における愛と死と〈孝〉と 一中国における宗教思想の一前提一 孝哲学史への序章」加地伸行（『東方宗教』24 1964）
- W187 「孝の孔子の新解釈」加藤常賢（『斯文』43 1965 後に、『中国古代文化の研究』二松学舎大学 1986）
- W188 「孔子と尚書」松本雅明（『春秋戦国における尚書の展開』風間書房 1966）
- W189 「論語の孝」大塚鑑（『甲南大学文学会論集』38（社会科学編8） 1968）
- W190 「孔子の孝と中庸と」安本博（『森三樹三郎博士頌寿記念 東洋学論集』1979）
- W191 「孔子の倫理」加藤常賢（『中国古代倫理学の発達』明德出版社 1983）
- W192 「『論語』為人孝弟章について」松川健二（（北海道大学）『中国哲学』18 1989）
- W193 「論語における「孝」と「死」」山崎徹（『国士舘大学教養論集』36 1993）
- W194 「孔子の礼・孝・仁・楽 一三重拘束された身体一」橋本敬司（（広島哲学会）『哲学』50 1998）

3、その他

- W195 「中江藤樹に於ける孝経古今の問題 一今文孝経より古文孝経移行の意義一」木村光徳（『呉宮原高紀要』1 1954）
- W196 「唐代仏教家の孝論について」道端良秀（『宮本正尊教授還暦記念 印度学仏教学論集』1954）
- W197 「中江藤樹の学における孝について」木村光徳（『定時制高校』10周年記念号 1956）
- W198 「『韓非子』の忠孝篇」板野長八（『鈴木俊教授還暦記念 東洋史論叢』1 1964 後に、『儒教成立史の研究』岩波書店 1995）
- W199 「王禎農書における孝弟の意義」野村恵二（『斯文』46 1966 後に『陽明学研究』世界思想社 1974）

- W200 「忠孝篇と楽論篇」板野長八（『中国古代における人間観の展開』岩波書店 1972）
- W201 「貝原益軒とその孝道論」山崎道夫（『宇野哲人先生白寿祝賀記念 東洋学論叢』 1974）
- W202 「呂氏春秋の孝説について」沼尻正隆（『日本大学人文科学研究研究所研究紀要』 17 1975 後に、『呂氏春秋の思想的研究』汲古書院 1997）
- W203 「中江藤樹の孝 — 川島武宜・守本順一郎両氏の解釈について —」加地伸行（『史学雑誌』 85-6 1976 後に、『中国思想からみた日本思想史研究』吉川弘文館 1985）
- W204 「いわゆる藤樹学の形成史的考察」山本命（『中江藤樹の儒学 — その形成史的研究 —』風間書房 1977）
- W205 「藤樹学における宗教論」山本命（『中江藤樹の儒学 — その形成史的研究 —』風間書房 1977）
- W206 「朱子から王陽明へ — 「孝」と「中庸」解釈を通しての一考察 —」小林和彦（『竹内照夫博士古稀記念 中国学論文集』 1981）
- W207 「荀子における人間探求 — 先秦儒家思想の展開と荀子の人間観 —」井出元（『中国における人間性の探求』創文社 1983）
- W208 「鄭玄における孝の意義 — 殷周革命と『周礼』国家 —」間嶋潤一（『鎌田正博士八十寿記念 漢文学論集』 1991）
- W209 「熊沢蕃山の「孝」の世界観と経世論」中村泉（『史泉』 75 1992）
- W210 「法家の説の展開」越智重明（『戦国秦漢史研究（2）』中国書店 1993）
- W211 「『論語徴』のなかの「孝」」田尻祐一郎（『懐徳』 61 1993）
- W212 「羅近溪の孝弟について」上田弘毅（『山形大学紀要（人文科学）』 13-1 1994）
- W213 「元代浄明道の革新の士 劉玉の倫理思想 — 『浄明忠孝全書』を中心に —」畑忍（『中国学志』同人号（総13） 1998）

V、孝子

- W214 『孝子伝』解説并釈文 吉川幸次郎（『京大附属図書館景印『孝子伝』』京

都大学附属図書館 1959)

- W215 「小林本内外因縁集と孝子譚 —各種二十四孝説話との比較並びに影響—」
徳田進 (『高崎経済大学論集』 3 1960)
- W216 「孝子列伝の複製とその影響」 徳田進 (『高崎経済大学論集』 4 1961)
- W217 「三綱行実孝子図の複製とその影響」 徳田進 (『高崎経済大学論集』 5 1961)
- W218 「虞舜至孝説話の伝承」 増田欣 (『中世文芸』 22 1961)
- W219 「高麗本孝行録の渡来とその影響 (その一) —孝子説話より見た日中韓の交渉—」 徳田進 (『高崎経済大学論集』 6 1962)
- W220 「高麗本孝行録の渡来とその影響 (その二) —孝子説話より見た日中韓の交渉—」 徳田進 (『高崎経済大学論集』 7 1962)
- W221 「高麗本孝行録の渡来とその影響 (その三) —孝子説話より見た日中韓の交渉—」 徳田進 (『高崎経済大学論集』 8 1963)
- W222 「明清時代の治政策と主要孝子説話集」 徳田進 (『高崎経済大学論集』 9 1963)
- W223 「孝子譚における日韓交渉の祖源 (その一)」 徳田進 (『高崎経済大学論集』 10 1963)
- W224 「孝子譚における日韓交渉の祖源 (その二)」 徳田進 (『高崎経済大学論集』 11 1964)
- W225 「孝子説話 (二十四孝) について」 滝沢俊亮 (『中国の思想と民族』 校倉書房 1965)
- W226 「補遺 二十四孝と仏教」 道端良秀 (『唐代仏教史の研究』 法蔵館 1967)
- W227 「舜の孝子説話の発展と拡大」 徳田進 (『高崎経済大学論集 (創立10周年記念)』 22・21・22 1967)
- W228 「李朝旌表者役免除の一研究 —特に孝子、烈女の復戸を中心に—」 西川孝雄 (『名古屋大東洋史研究報告』 4 1976)
- W229 「『二十四孝』と『孝行物語』」 成田守 ((大東文化大学) 『日本文学研究』 25 1986)

- W230 「竹の子三本雪の中 —孝子孟宗譚の日本的展開—」 母利司朗 (『国文学研究資料館紀要』12 1986)
- W231 『孝行録』の「明達売子」について —「二十四孝」の問題点— (『汲古』15 1989)
- W232 「金元墓の孝子図と元曲」 高橋文治 (『未名』8 1989)
- W233 「朝鮮における孝意識の演化と孝感譚 (一) —孝感奇伝話素典型分類表の作成を中心に—」 成沢勝 (『朝鮮学報』138 1991)
- W234 「虞舜孝子譚の朝鮮的演変 (1) —バージョン毎の話案の検証と特徴の確認を中心に—」 成沢勝 ((東北大学)『言語と文化』2 1993)
- W235 『大明仁孝皇后観善書』(上) —巻三〈孝子譚〉を中心とする— 稲葉二柄・花田富二夫 (『大妻女子大学紀要 (文系)』25 1993)
- W236 『孝行録』と「二十四孝」再論 金文京 ((慶応大学)『芸文研究』65 1994)
- W237 『全相二十四孝詩選』と郭居敬 —二十四孝図研究ノートその一— 橋本草子 ((京都女子大学)『人文論叢』43 1994)
- W238 「本朝後期邑誌編纂と孝子・烈女 —十七・十八世紀全羅道を中心に—」 山内民博 (『史淵』132 1995)
- W239 「老萊子孝子説話における孝の真意」 下見隆雄 (『東方学』92 1996 後に、『孝と母性のメカニズム』研文出版 1997)
- W240 「孝の本質を点検する —孝子説話を中心に—」 下見隆雄 (『古田敬一教授頌寿記念 中国学論集』1997 後に、『孝と母性のメカニズム』研文出版 1997)
- W241 『搜神記』と孝子説話について 大橋由治 ((大東文化大学)『漢学会誌』36 1997)
- W242 「孝女曹娥碑をめぐる」 福本雅一 (『学林』28・29 1997)

VI、曾子

- W243 「門弟達」 H. G. クリール (H. G. Creel) (『孔子 —その人とその伝説— (“Confucius, the Man and the Myth”)] (邦訳版) 岩波書店 1961)

- W244 「曾子」林秀一（『中国の思想家（上）』勁草書房 1962 後に、『孝経学論集』明治書院 1976）
- W245 「弟子 — 孔子説話の思想史的研究 その九—」渡辺卓（『山梨大学学芸学部研究報告』11より16までと『山梨大学教育学部研究報告』17・18とに連載 1962—1968 後に、東洋学叢書『古代中国思想の研究』創文社 1973）
- W246 「曾子と《曾子》学派 — 孝哲学史研究その二—」加地伸行（『懷徳』35 1964）
- W247 「孔門の若き秀才たち — 子游・子夏・子張・曾子について」木村英一（『日本中国学会報』24 1972 後に、東洋学叢書『中国哲学の探究』創文社 1981）
- W248 「曾子問考」栗原圭介（『大東文化大学紀要（人文科学）』13 1975）
- W249 「『論語』曾子一貫章について」松川健二（（北海道大学）『中国哲学』20 1991）
- W250 「『孟子』より見た先秦思想史研究（続） — 曾子学派考—」沢田多喜男（『千葉大学人文研究』24 1995）

— 中文篇 —

【単行本】

- C001 『孝経忠経白話註解合刊』王有宗（瑞成書局 1955）
- C002 『孝経通議』喬一凡（国防大学 1956 三軍連合参謀大学 1966）
- C003 『孝経易知録』台北市蓮友念仏団（台北市蓮友念仏団 1961）
- C004 『孝経講義』極楽永久放生会（極楽永久放生会 1962）
- C005 『孝経講義』陳慧復（善導寺護法会 1963）
- C006 『孝経新解』趙東諸（理教総公所 1967）
- C007 『白話註解孔子孝経』閻敏之（王氏図書館 1967）
- C008 『孝経註釈』李礼（実践叢書之一 実践月刊社 1968）

- C009 『新孝經』 李丹郎 (商務印書館 1970)
- C010 『孝經通識』 張巖 (人人文庫 商務印書館 1970)
- C011 『孝經新研究』 葉守乾·汪公正 (三民主義教學研究會 1971)
- C012 『儒家的孝道』 謝澆見 (文化學院哲學研究所 1971)
- C013 『孝經述議』 史次耘 (商務印書館 1972)
- C014 『六十年来之孝經學』 李鑒 (六十年来之國學(1) 正中書局 1972)
- C015 『孝經』 李麗亞·石劼 (文致出版社 1973)
- C016 『孝經語法研究』 陳于若 (台灣大學中文研究所 1973)
- C017 『孝經(中英對照)』 佚名 (太平書局 1974)
- C018 『孝經白話註解』 積大同 (華連出版社 1974)
- C019 『孝經管窺』 林敏堂 (瑞成書局 1976)
- C020 『孝經心得』 黃和平 (和平國醫診所 1976)
- C021 『敦煌本孝經類纂』 陳鉄凡 (燕京文化事業公司 1977)
- C022 『孝經鄭氏解駢經、孝經鄭氏解抉微』 陳鉄凡 (燕京文化事業公司 1977)
- C023 『敦煌本孝經類纂』 陳鉄凡 (燕京文化事業公司 1977)
- C024 『孝經故事』 宇牧 (國家出版社 1981)
- C025 『孝經讀本』 文國書局 (文國書局 1982)
- C026 『孝經的研究』 何子煌 (新加坡亞洲研究學會 1984)
- C027 『孝經之文學』 楊鴻銘 (文史哲出版社 1984)
- C028 『孝經今註今釈』 黃得時 (商務印書館 1972 修訂版1986)
- C029 『孝經學源流』 陳鉄凡 (中華叢書 國立編譯館 1986)
- C030 『孝經鄭注校註』 陳鉄凡 (中華叢書 國立編譯館 1987)

- C031『孝經白話注釈』 嚴協和 (三秦出版社 1988)
- C032『孝經故事』 林宇牧 (國家出版社 1988)
- C033『孝經』 郭明進 (漢威出版社 1991)
- C034『孝經白話注解』 陳威知 (世峰出版社 1991)
- C035『新訳孝經読本』 賴炎元・黃俊郎 (三民書局 1992)
- C036『先秦孝道研究』 康學偉 (大陸地區博士論文叢刊30 文津出版社 1992)
- C037『儒家孝道思想研究』 林安弘 (文史哲體系 文津出版社 1992)
- C038『漫話二十四孝』 陳正宏 (上海文化出版社 1992)
- C039『孝經訳注』 胡平生 (中華書局 1996)
- C040『孝經漫談』 羅蚩・黃黎星 (十三經漫談叢書11 頂淵文化事業公司 1997)
- C041『孝經訳注』 汪受寬 (中華古籍訳注叢書 上海古籍出版社 1998)

【論文】

1、孝經

1、目錄・索引

- C042『孝經引得』 燕京大學引得編纂處 (哈佻燕京學社 1950)
- C043「孝經大小傳及撰本編制分析」 張巖 (『孝經通識』 商務印書館 1970)
- C044「歷代類書著錄孝經書目彙列」 張巖 (『孝經通識』 商務印書館 1970)
- C045「晚近「孝經」研究論文彙目」 何広棧 (『中國書目季刊』 23-4 1990)
- C046『爾雅逐字索引・孝經逐字索引』 劉殿爵・陳方正 (先秦兩漢古籍逐字索引叢刊16・17 商務印書館 1995)

2、總論

- C047 「孝經」金其源（『読書管見』商務印書館 1957 世界書局 1963）
- C048 「孝經述義」史次耘（『學術季刊』6-3 1958）
- C049 「与傅沅叔增湘書（論撰孝經序之伝注其人）」胡玉縉（『許頤學林』中華書局 1958 世界書局 1963）
- C050 「清代孝經學考（上）」楊家駱（『學粹』3-1 1960 後に、十四經新疏第三期書『孝經集注述疏・曾子家語』世界書局 1969）
- C051 「清代孝經學考（下）」楊家駱（『學粹』3-2 1961 後に、十四經新疏第三期書『孝經集注述疏・曾子家語』世界書局 1969）
- C052 「孝經作者考」田良（『新鐸聲』6-33 1961）
- C053 「孝經的著作時代与作者考」田良（『新鐸聲』6-35 1961）
- C054 「《孝經》—封建倫理化的神秘主義世界觀—」任繼愈（『中國哲學史（2）』人民出版社 1963）
- C055 「孝經節選」蔡新高（『古今文選』新102 1965）
- C056 「孝經研究」劉雨成（『教育与文化』332・333 1965）
- C057 「高昌国毛詩・論語・孝經立学官的原因試釈」曹仕邦（『新亞書院學術年刊』8 1966 後に、中華叢書『唐代研究論集（4）』新文豐出版 1992）
- C058 「孝經疏証」李鑾（『師大學報』12 1967）
- C059 「孝經註釈序」高明（『中華日報』11 1968. 10. 31 後に、『高明經學論叢』黎明文化事業公司 1978）
- C060 「孝經的真義」傅啓學（『國魂』271 1968）
- C061 「孝經平議之一—伝習与撰作—」陳鉄凡（『大陸雜誌』39-6 1969）
- C062 「漢初的孝經博士及孝經教育」方師鐸（『孔孟月刊』7-12 1969）
- C063 「孝經研究」丁慰慈（『中華日報』5 1969. 6. 2）
- C064 「歷代孝經品評概挙」張巖（『孝經通識』商務印書館 1970）
- C065 「歷代孝經紀事彙考」張巖（『孝經通識』商務印書館 1970）

- C066 「經伝孝弟論類次」張巖（『孝經通識』商務印書館 1970）
- C067 「今古文孝經章法異同考弁」張巖（『孝經通識』商務印書館 1970）
- C068 「孝經十八章与經伝相通論」張巖（『孝經通識』商務印書館 1970）
- C069 「談《孝經》的真諦」王炳麟（『青年戰士報』 1971. 7. 26）
- C070 「六十年来之孝經学」李鑒（『国学』 1 1972）
- C071 「孝經与論語中孝道思想的比較」謝幼偉（『哲学論集』 1 1972 後に、『中国哲学論文集』華岡出版部 1973）
- C072 「孝与孝經」華仲麟（『中文季刊』 8—4 1972）
- C073 「孝与孝經」華仲麟（『孔孟月刊』 10—12 1972）
- C074 「孝經与其作者」黃得時（『中央月刊』 4—10 1972）
- C075 「孝經与其作者」黃得時（『名著与名人』中央月刊社 1973）
- C076 「孝經研究」劉志江（『農專學報』 14 1973）
- C077 「孝經的時代性」龔燮（『四海之友』 43 1973）
- C078 「讀孝經一得」周耀（『台南師專學報』 7 1974）
- C079 「孝經与爾雅概述」劉德漢（『孔孟月刊』 12—6 1974）
- C080 「《孝經》選批」中文系二年級《孝經》批注小組（『西北大學學報（社会科学版）』 1974—3 1974）
- C081 「《孝經》是反動沒落階級的復辟」遼源發電廠電氣分廠、四季師範學院政治歷史經大批判組（『吉林日報』 1974. 11. 9）
- C082 「孝經是維護剝削階級統治的反動武器」团委·学生会理論組（『西北大學學報（社会科学版）』 1974—3 1974）
- C083 「說孝經」于大成（『孔孟月刊』 13—11 1975）
- C084 「《孝經》選批」中共甘肅省委第一期工農理論學習班部分學員等（『甘肅師大學報』 1975—1 1975）
- C085 「徹底戳穿《孝經》的反動實質」銅川市中国人民銀行等理論組（『陝西師大

- 學報 (哲学社会科学)』1975—1 (1975)
- C086 「孝經存疑試論」 讀後補証及淺見」 曾伯華 (『孔孟月刊』14—5 1976)
- C087 「孝經的時代精神」 李威熊 (『国教補導』16—7 1977)
- C088 「從孝經談孝道」 謝新周 (『中国国学』5 1977)
- C089 「從孝經論孝道」 新動力雜誌社 (『新動力』29—12 1977)
- C090 「《孝經》、《忠經》是教孝勤忠之宝典」 李寰 (『道德論叢』1 1977)
- C091 「孝經中貴民的思想」 吳登台 (『青年戰士報』10 1978)
- C092 「孝經的時代性」 龔燮 (『四海之友』43 1978)
- C093 「孝經對現代人的慶事」 王開府 (『師大校刊』231 1979)
- C094 「《孝經》其書其義」 王先漢 (『中央月刊』11—10 1979)
- C095 「孝經的孝道觀」 李威熊 (『中央日報』11 1979)
- C096 「讀孝經談孝道」 獄峰 (『中華晚報』7 1979)
- C097 「《孝經》——封建倫理化的神秘主義世界觀——」 任繼愈 (『中国哲学史』人民出版社 1979)
- C098 「孝經其書其義」 王先漢 (『中央月刊』11—10 1979)
- C099 「阮元倡讀孝經之背景与影響」 姚垚 (『孔孟月刊』18—3 1979)
- C100 「孝經述要」 曾昭旭 (『群經述要』黎明文化事業公司 1979)
- C101 「孝經于微義略說」 愛華 (『中華日報』9 1980)
- C102 「孝經索隱存疑」 郭清標 (『实践學報』11 1980)
- C103 「讀孝經札記」 姚振黎 (『孔孟月刊』18—11 1980)
- C104 「從孝經談孝道的時代意義」 李威熊 (『問學叢談』文史哲出版社 1980)
- C105 「孝經讀後」 鄭威 (『中華日報』9 1981)
- C106 「說孝經」 于大成 (孔孟學說叢書『經學論文集』黎明文化事業公司 1981)

背表紙題『經学研究論集』

- C107 「經書淺談 — 孝經 —」 楊伯俊 (『文史知識』 1982-3 1982)
- C108 「孝經節選」 楊儒賓 (『古今文選』 新524 1982)
- C109 「由孝經看中国文化」 高大鵬 (『孔孟月刊』 21-9 1983)
- C110 「孝經通解」 靳勇為・周文娟 (『中華易學』 4-11より6-3まで連載 1984-1985)
- C111 「孝經」 辛冠潔・丁健生 (『中国古代佚名哲学名著評述 (2)』 齊魯書社 1984)
- C112 「讀孝經 觀孝經 — 淺談孝經与宋高宗書馬之繪図冊 —」 譚怡令 (『故宮文物月刊』 3-1 (総25) 1985)
- C113 「魏氏高昌時代の『孝經』与孝の觀念」 嚴輝中 (『中華文史論叢』 1986-2 (総38) 1986)
- C114 「孝經及其思想之研究」 金振峰 (『勤益學報』 4 1986)
- C115 「孝經及其孝道觀」 陳訓章 (『孔孟學報』 25-11 1987)
- C116 「中日孝經書緣」 吳哲夫 (『中華學苑 (盧声伯教授逝世十周年紀念專号)』 37 1988)
- C117 「中日孝經書緣」 吳哲夫 (『故宮文物月刊』 6-9 1988)
- C118 「四庫全書窺隱 — 孝經和孝道 —」 雲台 (『中央日報』 17 1989)
- C119 「孝經的思想」 祝瑞開 (『兩漢思想史』 上海古籍出版社 1989)
- C120 「孝經」 王三山 (『影響中国歷史的三十本書』 武漢大学出版社 1990)
- C121 「家族倫理的政治化 — 釈「孝經」 —」 馬森 (『団塊』 553 1991)
- C122 「孝經釈讀」 馬振珏 (『中華儒學通典』 南海出版公司 1992)
- C123 「『孝經』的作者、成立年代及其流傳」 黃中業 (『史學集刊』 1992-3 (総48) 1992)
- C124 「『孝經』思想論評」 劉學林・王楠 (『陝西師大學報 (哲學社會科學)』 22-1 (総82) 1994)

C125 「《孝經》的作者及其成書時代」 伏俊連 (『孔子研究』1994—2 1994)

C126 「《孝經》作者与成書年代考」 張濤 (『中国史研究』1996—1 (總69) 1996)

3、章句研究

C127 「孝經「口無扞言、身無扞行」新解」 朱廷獻 (『大陸雜誌』37—4 1968)

C128 「略析“不孝有三無后為大”的孝道觀」 李耀宗等 (『人口研究』1981—4 1981)

4、注釈書

C129 「讀孝經鄭氏注」 胡玉縉 (『許廩学林』中華書局 1958 世界書局 1963)

C130 「孝經鄭注真偽弁疑」 張巖 (人人文庫『孝經通識』商務印書館 1970)

C131 「論鄭氏孝經序——孝經平議之二——」 陳鉄凡 (『大陸雜誌』42—9 1971)

C132 「孝經鄭氏解辭銓」 陳鉄凡 (『国立中央図書館館刊』10—1 1977)

C133 「孝經鄭氏解抉微」 陳鉄凡 (『孔孟学報』33 1977)

C134 「日本《古文孝經》孔伝の真偽問題——經学史上一件積案の清理——」 胡平生 (『文史』23 1984)

C135 「元行沖撰孝經疏二卷」 顧吉辰 (『宋史比事質疑』書目文献出版社 1987)

C136 「文徵明泥金小楷孝經」 羅仁忠 (『四川文物』1990—6 (總34) 1990)

C137 「《孝經直解》的語法特点」 呂雅賢 (『語文研究』3 1993)

C138 「孝經直解」 宋紹年 (『近代漢語誤報資料彙編 元代明代卷』商務印書館 1995)

5、敦煌出土本

C139 「敦煌北魏写本孝經殘葉補校記」 蘇宝輝·勞榘跋 (『大陸雜誌』20—5 1960)

- C140 「敦煌北魏写本論持序真偽及孝經要義」 蘇宝輝 (『孔孟學報』 1 1961)
- C141 「敦煌本孝經類纂弁言」 陳鉄凡 (『孔孟月刊』 16-1 1977)
- C142 「敦煌本孝經考略」 陳鉄凡 (『東海學報』 19 1978)
- C143 「敦煌本鄭氏孝經序作者稽疑」 陳鉄凡 (『敦煌學』 4 1979)
- C144 「敦煌本孝經鄭氏解義疏作者問題重探」 陳金木 (『嘉義師院學報』 3 1990)
- C145 「批敦煌變文考釈画像“王武子妻”和“劉明達” 唐長寿 (『敦煌研究』 1990-1 1990)
- C146 「敦煌本孝經校讐」 李德超 (『第二屆敦煌國際研討會論文集』 漢學研究中心 1991)

6、版本・出版

- C147 「漢石經概述 —附馬衡先生著述目錄—」 馬衡 (『考古學報』 10 1955)
- C148 「由「趙孟頫孝經函卷」兼論孝經問題」 傅隸樸 (『政論周刊』 92 1956)
- C149 「由「趙孟頫孝經函卷」兼論孝經問題」 傅隸樸 (『學園』 8-10 1973)
- C150 「賀知章孝經考」 陳菊圃 (『暢流』 49-7 1974)
- C151 「周元籀書「孝經」讀後」 澎湃 (『中華日報』 5 1977. 3. 28)
- C152 「日韓孝經的出版与收藏」 吳哲夫 (『第二屆中國域外漢籍國際學術會議論文』 連合報國學文獻館 1987)
- C153 「日本胆沢城遺址出土《古文孝經》論介」 李學勤 (『孔子研究』 1988-4 (總12) 1988)
- C154 「孝經中黃識解題改寫本」 陳槃 (『中央研究院歷史語言研究所集刊』 59-4 1988)
- C155 「日本尾張藩刻本群書治要載孝經鄭注与我国群籍所引佚文之異同」 沈文倬 (『上海社會科學』 學院出版社 1988)

II、孝

1、總論

- C156 「儒家的孝道思想及其批判」 吳怡 (『大学生』 15 1960)
- C157 「論孝」 小姍 (『華僑日報』 1963. 2. 3)
- C158 「儒家的「忠」「孝」思想」 鍾天枋 (『景風』 19 1968)
- C159 「儒家孝道思想研究」 李国良 (『女師專學報』 3 1973)
- C160 「狠批孝悌思想、破除宗族觀念」 中共長樂縣古槐公社委員會 (『福建日報』 1973. 11. 27)
- C161 「孝悌 — 維護奴隸制的反動思想武器 —」 岳升 (『北京日報』 1974. 1. 28 後に、『北京大學學報 (哲學社會科學)』 1974- 1 1974)
- C162 「殷周金文中的“孝”和孔丘“孝道”的反動本質」 李裕民 (『考古學報』 1974- 2 1974)
- C163 「鼓吹“孝悌”是為了“復禮”」 崇文區前門街道西湖宮居民委員會 (『北京日報』 1974. 8. 7)
- C164 「鼓吹“孝悌”就是反對革命」 莊雲火 (『文匯報』 1974. 8. 16)
- C165 「「先秦儒家孝的研究」提要」 吳美鳳 (『華學月刊』 31 1974)
- C166 「儒家孝道思想的淵源」 李国良 (『女師專學報』 4 1974)
- C167 「孝之性質及其受容」 謝幼偉 (『華岡學報 (慶祝錢賓四先生八十歲論文集)』 8 1974)
- C168 「鼓吹“孝悌”就是反對革命」 北京部隊某部八連理論小組 (『人民日報』 1975. 2. 24)
- C169 「說儒家思想之孝的學說」 胡冷 (『華僑日報』 1975. 6. 16)
- C170 「孝道思想及其對教育之影響」 滕春興 (『女師專學報』 8 1976)
- C171 「儒家孝道的真義」 莊政 (『慧炬』 154 1977)
- C172 「儒家的孝道」 毛子水 (『連合報』 13 1977)
- C173 「孝道」 朱炎 (『中國文化論文集 (1)』 幼獅文化事業公司 1979)

- C174 「孝的哲学」林子歟（『華岡文化學報』13 1981）
- C175 「“孝道”的形成和封建“孝道”的興衰」胡夢如（『中國老年』1983—2 1983）
- C176 「論“孝”」時運生（『東岳論叢』1983—3 1983）
- C177 「試論孝道的本源及其沒落」曾昭旭（『唐君毅先生紀念論文集（唐君毅先生逝世五周年紀念）』1983）
- C178 「試論中華民族孝的傳統美德的批判與繼承」劉君達（『學術論壇』1984—5 1984）
- C179 「由古代文物看孝親」張臨生（『故宮文物月刊』2—1 1984）
- C180 「忠孝道德評述」黃中業·張本政（『中國哲學史研究』1985—2（總19）1985）
- C181 「儒家“孝”的觀念」孟廣林（『中國青年報』1986.10.12）
- C182 「對封建孝道如何批判繼承」安雲風（『北京師院學報（社會科學）』1986—1（總52）1986）
- C183 「說孝」潘悠（『歷史教學問題』1986—2 1986）
- C184 「論“孝”的源流及在社會主義時期的特征」戴啓予·周中仁（『廣西社會科學』1986—3 1986）
- C185 「評封建忠孝道德學說的唯心主義體系」黃中業（『吉林大學社會科學學報』1986—4 1986）
- C186 「商代“孝”道質疑」鄭慧生（『史學月刊』1986—5（總163）1986）
- C187 「孝與順」走玲玲（『東吳大學哲學系傳習錄』5 1986）
- C188 「論儒家孝的理論及其現代化」與德行·成中英（『漢學研究』4—1（總7）1986）
- C189 「老子孝——古代中國長期尊奉孝道——」唐納德·雀爾茲曼（『信使』1987—1 1987）
- C190 「先秦儒家與法家“忠孝”倫理思想述評」孫家洲（『貴州社會科學（文史哲）』1987—2（總52）1987）

- C191 「中国仏教中の孝」 陳觀勝 (『敦煌學輯刊』 1988-1・2 1988)
- C192 「“孝” 道的起源与“孝” 行的最早提出」 何平 (『南開學報 (哲學社會科學)』 1988-2 (總82) 1988)
- C193 「漢代“孝” 的觀念的變化」 孫篠 (『孔子研究』 1988-3 (總11) 1988)
- C194 「孝的觀念与漢代家庭」 孫篠 (『中國史研究』 1988-3 (總39) 1988)
- C195 「論孝」 王磊 (『寶鷄師院學報 (哲學社會科學)』 1988-4 1988)
- C196 「孝的真諦 — 從儒仏的觀點來談 —」 蔡誠元 (『中國仏教』 32-8 1988)
- C197 「孝的生命歷程及其生生之德」 吳怡 (『鵝湖』 14-6 (總162) 1988)
- C198 「論儒家“孝” 觀念的歷史演變和影響 (『儒學國際學術討論會論文集 (上)』 齊魯書社 1989)
- C199 「談儒、仏的孝道思想」 冬暖 (『文芸月刊』 239 1989)
- C200 「先秦儒家孝悌之道研究」 曾春海 (『儒家哲學論集』 文津出版社 1989)
- C201 「論孝的義務 — 对一再考儒家德目的功利主義証成 —」 盛慶淙 (『國際東西哲學比較研討會論文集』 中國文化大學哲學系所 1989)
- C202 「儒家的「孝」 及其借鑑價值」 王書榮 (『桂林市教育學院學報 (綜合版)』 1990-2 1990)
- C203 「論孝与忠的社會基礎」 李奇 (『孔子研究』 1990-4 1990)
- C204 「關於“孝” 的思考」 寧德禹 (『道德与文明』 1990-5 1990)
- C205 「中國倫理中的「孝」 道思想」 張振東 (『哲學与文化』 17-3 (總190) 1990)
- C206 「試評「孝道的認知結構与發展 — 概念与衡鑑 —」」 雷霆 (『大陸雜誌』 80-1 1990)
- C207 「中國文化与孝道」 李學綱 (『中原文獻』 22-4 1990)
- C208 「試論唐代的孝道」 牛志平 (『晉陽學報』 1991-1 1991)
- C209 「談現時期「孝」 的合理因素」 李芹 (『山東大學學報 (哲學社會科學)』 199

1-1 1991)

- C210 「論西周孝道觀的本質」王慎行 (『人文雜誌』1991-2 (總70) 1991)
- C211 「“孝”的二重性及其社會價值」葛榮晉 (『孔子研究』1991-2 1991)
- C212 「中國古代孝忠與國家觀念的演變」黃倩 (『學海』1991-5 1991)
- C213 「談孝道」程其恒 (『社會教育年刊』44 1991)
- C214 「父權制・世襲主義與孝道」Hamilton. Gary. (『中國宗教倫理與現代化』商務印書館 1991)
- C215 「孝的源流與新的孝道觀 (上)」李煥明 (『孔孟月刊』30-2 (總350) 1991)
- C216 「孝的源流與新的孝道觀 (下)」李煥明 (『孔孟月刊』30-3 (總351) 1991)
- C217 「論孝觀念形成於父系氏族公社時代」康學偉 (『松遼學刊 (哲學社會科學)』1992-2 1992)
- C218 「論“禮”與“孝”的思想本質」侯玉臣 (『蘭州學刊』1992-2 1992)
- C219 「論漢代的以孝治天下」趙克堯 (『復旦學報 (社會科學)』1992-3 1992)
- C220 「堯舜之孝道為本」陳崇仁 (『浙江學刊』1992-3 1992)
- C221 「忠孝之道 — 傳統政治倫理的價值結構與傳統義務觀 —」葛荃 (『天津社會科學』1992-5 1992)
- C222 「“孝”與家庭文明」魏英敏 (『北京大學學報 (哲學社會科學)』1993-1 (總155) 1993)
- C223 「孝道新解」駱承烈 (『齊魯學刊』1993-1 1993)
- C224 「唐代孝道研究」牛志平 (『學術界』1993-1 1993)
- C225 「漢代的忠孝觀念及其對漢畫藝術的影響」楊愛國 (『中原文物』1993-2 (總64) 1993)
- C226 「西周“孝”義試探」查昌國 (『中國史研究』1993-2 (總52) 1993)
- C227 「簡論老莊孝道觀」康學偉 (『松遼學刊 (哲學社會科學)』1993-2 1993)

- C228 「傳統的孝与子女的主体人格」 楊磊 (『社科縱橫』1993—2 1993)
- C229 「論春秋之“孝”非尊親」 查昌国 (『安慶師院社会科学學報』1993—4 1993)
- C230 「“孝”能不能倡導」 何勤華 (『文匯報』1993—5 1993)
- C231 「論三代傳統孝道向封建倫理的轉化」 康學偉·王志剛 (『遼寧教育學院學報』1994—4 1994)
- C232 「“孝”還能不能倡導？」 王惠民 (『學習論壇』1994—5 1994)
- C233 「傳統孝道与現代親子關係」 范鵬 (『天府新論』1994—5 1994)
- C234 「“孝順”有了新內含」 賈宏洲 (『社会科学研究』1994—5 1994)
- C235 「孝——傳統文化的精華——」 孫加福 (『青年思想家』1994—5 1994)
- C236 「略談“孝敬”問題」 石俊秀 (『光明學報』1994—7 1994)
- C237 「孝道倫理的歷史功能与現代價值」 王墨·李江流 (『哲學動態』1994—12 1994)
- C238 「試論中国文化对仏教孝道觀的融攝——对古美〈大乘仏教孝觀的發展背景——文的商榷——」 王志楨 (『中華學苑』44 1994)
- C239 「“孝”的揚棄」 孫友忠 (『道德与文明』1995—1 1995)
- C240 「《礼記》的孝道思想及其泛化」 消群忠 (『西北師大學(社会科学)』1995—2 1995)
- C241 「論“孝”」 陳勇 (『徐州師範學院學報(哲学社会科学)』1995—3 1995)
- C242 「“孝”和未來社会——關於“孝”的國際學術會議簡論——」 羅國傑 (『道德与文明』1995—5 1995)
- C243 「孝与中国文化的精神分析」 葉舒憲 (『文藝研究』1996—1 (總101) 1996)
- C244 「論先秦儒家的孝悌觀及其社会功能」 陳延軍 (『遼寧師範大學學報(社会科学)』1996—6 (總110) 1996)
- C245 「傳統孝道新論——兼論重建傳統道德——」 王玉德 (『華中師範大學學報(哲

学社会科学』35—5（總122） 1996）

C246 「孝道与情欲 —後漢末期儒教的苦惱—」岡村繁（『中国文哲研究通訊』6—4 1996）

2、孔子・論語

C247 「孔子孝的学說」潘重規（『中国學術史論集』1 1956）

C248 「孔門論孝」劉百閔（『大学生活』2—10 1957）

C249 「孔門論孝」劉百閔（『人生』14—1 1957）

C250 「孔子如何教孝」曹国霖（『建設』11—4 1962）

C251 「孔子所說的「孝」」且益霖（『孔孟月刊』1—5 1963）

C252 「孝經為孔子顯天心之作」劉百閔（『經子肆言』遠東圖書公司 1964）

C253 「孔子志在春秋行在孝經」熊公哲（『孔孟學報』9 1965 後に、国学研究叢書『孔子思想研究論集（1）』黎明文化事業公司 1983）

C254 「從孝經及論語談孔子之孝道」黃得時（『大華晚報』13 1966. 4. 5）

C255 「孔孟論孝」康国棟（『反攻』297 1966）

C256 「孔子言孝淺积」楊一峰（『孔孟學報』5—8 1967）

C257 「孔子言孝淺积」楊一峰（『道德叢刊』21 1967）

C258 「孝經為孔子顯天心之作」劉百閔（『国魂』311 1971）

C259 「狠批孔子的“孝”“悌”思想」載軒芳（『福建日報』1973. 12. 24）

C260 「周初文献与孔子的中道和孝道学說」屈万里（『孔孟月刊』12—12 1974）

C261 「孔門孝道与孝經」華仲麟（『孔孟月刊』15—2 1976）

C262 「孔門孝道与孝經」華仲麟（『青年戰士報』5 1976）

C263 「從《孝經》及《論語》談孔子之孝道」黃得時（『大華晚報』1977. 4. 5）

C264 「孔門孝經的倫理思想闡述」莊政（『東方雜誌』10—7 1977）

- C265 「孔子論孝弟」林福馨（『孔孟月刊』15—11 1977）
- C266 「孔門進德修業基本功夫安在——孝弟一」熊公哲（『孔孟學報』34 1977
後に、国学研究叢書『儒家思想研究論集（2）』黎明文化事業公司 1983）
- C267 「略論孔子“孝”的道德思想」李啓謙（『東岳論叢』1983—6 後に、曲阜師範學院孔子研究成果彙編之一『孔子研究』曲阜師範學院孔子研究所 1984）
- C268 「孔孟學說中之「忠孝」」陳立夫（『陳立夫儒學研究言論集』黎明文化事業公司 1983）
- C269 「孔子的“孝”不應該繼承」艾力農（『中國老年』1984—6 1984）
- C270 「孔子的“孝義”及其對封建制“不孝入罪”的影響」陳鵬生·陳漢生（『紅海學刊（經濟社會版）』1985—3 1985）
- C271 「孔門論孝」杜淑珠（『訓育研究』28—1 1989）
- C272 「論孔子孝道初探——兼論儒學和現代化——」周軍暉（『新疆師範大學學報（社會科學版）』1993—1 1993）
- C273 「論孔子對西周倫統孝道的繼承和發展」康學偉·王志剛（『東北師大學報（哲學社會科學）』1993）
- C274 「論孔子的孝道」徐敏（『中國社會科學學院研究生院學報』1994—3（總81）1994）
- C275 「孔子與忠孝節義的史學思潮」李穎科·符均（『陝西師大學報（哲學社會科學）』24—2（總97）1995）

Ⅲ、孝子

- C276 「讀魯迅評《二十四孝圖》」王國綬（『人民日報』1974.10.28）
- C277 「從《二十四孝圖》看孔學的虛偽性」孫玉瀾（『學習與批判』1974—7 1974）
- C278 「孝道是復辟之道——讀魯迅雜文《二十四孝圖》」中山縣橫檔大隊中心輔導組等（『南方日報』1975.5.20）
- C279 「虛偽的道德、復辟的工具——讀魯迅評《二十四孝圖》——」嚴恩圖（『安徽

- 文芸』1975—4 1975)
- C280 「老萊子其人及其道論」何浩（『江漢論壇』1985—11（總63） 1985）
- C281 「紀伝体史中《孝子伝》創始始末考」吳樹平（『秦漢文献研究』齊魯書社出版 1988）
- C282 「從“二十四孝”看伝統中国社会的人倫關係」李樹軍（『山東社会科学』1989—1 1989）
- C283 「説説“二十四孝”」王炳照（『儒、仏、道与伝統文化』（『文史知識』合刊）中華書局 1990）
- C284 「清代孝悌楷模伝(1) —焦循著書報答母恩—」何石松（『中央日報』17 1 1991）
- C285 「清代孝悌楷模伝(4) —劉台拱孝心不匱、奉養繼母一如生母—」何石松（『中央日報』17 1991）
- C286 「“二十四孝”簡論」曹占梅（『山西師大學報（社会科学）』1995—4 1995）

IV、曾子

- C287 「曾子学述」曾立仁（『華国』2 1958）
- C288 「曾子学案」李雲光（『師範大学国文研究所』 1959）
- C289 「曾子学案」李雲光（『国文研究所集刊』4 1960）
- C290 「曾子踐仁之規模」曾彩丞（『人生』22—10 1961）
- C291 「曾子之実学」羅連絡（『建設』10—11 1962）
- C292 「曾參作孝經的推測」金徳建（『司馬遷所見書考』人民出版社 1963）
- C293 「孔曾伝授の一貫之道」曾子友（『学宗』5—3 1964）
- C294 「曾在孔門」熊公哲（『孔孟学報』14 1967 後に、国学研究叢書『儒家思想研究論集（2）』黎明文化事業公司 1983）
- C295 「曾在孔門」熊公哲（『会訊』12 1968 後に、国学研究叢書『儒家思想研究論集（2）』黎明文化事業公司 1983）

- C296 「曾子踐仁的工夫」王甦（『孔孟月刊』13—11 1975）
- C297 「曾子的學行」王甦（『國魂』365 1976）
- C298 「宗聖曾子對於宏揚聖學的貢獻」陳立夫（『孔孟月刊』16—1 1977 後に、
『陳立夫儒學研究言論集』黎明文化事業公司 1983）
- C299 「宗聖曾子歷代之封贈與祀典」曾憲敬（『孔孟月刊』16—1 1977）
- C300 「曾子行孝以伝道」曾憲禕（『孔孟月刊』16—1 1977）
- C301 「孔門道統之伝 —顔、曾、思、孟、荀—」華仲麟（『孔孟學報』38 1979
後に、國學研究叢書『儒家思想研究論集（2）』黎明文化事業公司 1983）
- C302 「孔門道統之伝 —顔淵、曾子、子思、孟子、荀子—」華仲麟（『青年戰士
報』10 1979 後に、國學研究叢書『儒家思想研究論集（2）』黎明文化
事業公司 1983）
- C303 「曾子的思想」任繼愈（『中國哲學發展史』人民出版社 1983）
- C304 「《曾子天図》の述作考」金徳建（『中國哲學史研究』1986—3 1986）
- C305 「《曾子》著作時代考」王鉄（『中國哲學史研究』1987—1（総26） 1987）
- C306 「曾子學派的孝治思想」鐘肇鵬（『孔子研究』1987—2 1987）
- C307 「論曾子 —關於歷史上曾子的歷史評價—」黃治安（『文史哲』1993—1（総
214） 1993）
- C308 「曾子思想體系論綱」曾振宇（『遼寧師範大學學報（社會科學）』1994—3
（総95） 1994）
- C309 「從孔子到孟子的儒家修己思想 —兼論曾子承先啓後的中介性作用—」王
鈞林（『孔子研究』1994—4 1994）
- C310 「曾子思想的當代價值兩題」齊姜紅（『濟寧師伝學報』1994—4 1994）
- C311 「曾子與《孝經》 —儒家孝道理論的歷史變遷—」羅新慧（『史學月刊』19
96—1（総223） 1996）